

# 事業報告書

令和2年度

[令和2年4月1日から令和3年3月31日まで]

学校法人 全愛学園

全愛幼稚園

## 1、 法人の概要

- ① 名称：学校法人 全愛学園〔昭和62年12月1日法人設立〕
- ② 住所等：大阪府大阪市城東区鳴野西3丁目6番2号  
電話番号 06-6961-1627  
ファックス 06-6961-1688  
メールアドレス [zennaiyoutien@gaia.eonet.ne.jp](mailto:zennaiyoutien@gaia.eonet.ne.jp)  
ホームページ <http://www.zen-ai.net/>
- ③ 設置する学校  
学校の名称：全愛幼稚園  
定員：140名  
実員：92名
- ④ 理事長氏名：篠原利治  
\* 理事7人、評議員15人、監事2人 定例理事会年3回開催
- ⑤ 教職員の状況(今年度末時点)  
教職員数7人。 新規採用者0名 退職者1名

## 2、 事業の概要

### ① 教育方針

本園は一人一人を大切にし、心も身体も豊かに成長する保育、キリスト教の教えを基本とする愛の保育をおこないます。

#### I 一人一人が尊重される保育

一人一人の個性を大切にし、その良さを引き出す保育をします。

#### II 豊かな心と身体の育成

豊かな感性と何事にもチャレンジしようとする心を養い、  
元気でたくましい体づくりを努めます。

#### III 思いやりのあるやさしい心を育くむ

命あるものを大切にし、何事にも感謝すると共に、友だちを  
思いやる、やさしい心を育てます。

### ② 学年、定員、実員(内訳) 学級数 (令和2年3月31日)

| 年度 | 学級数 | 3歳児 | 学級数 | 4歳児 | 学級数 | 5歳児 | 計   |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 定員 |     |     |     |     |     |     | 105 |
| R1 | 2   | 24  | 2   | 27  | 1   | 35  | 86  |
| R2 | 2   | 32  | 1   | 30  | 1   | 27  | 89  |

### ③ 保育時間等

○月～金曜日： 午前8時50分～午後2時

○休園： 土曜日 日曜日 祝日 創立記念日

○長期休業： 夏休み 冬休み 春休み

④ 保育料及び諸経費

○保育料： 3、4、5歳児0円

○給食費： 4,000円/月(8月は徴収なし)

○教育充実費： 1,500円/月

○特別徴収費： 2,100円/月(特別行事 教材代:年長のみ)

○保護者会費： 900円/月

⑤ 入園時の費用

○検定事務手数料： 2,000円

○入園準備手数料： 60,000円

⑥ 給食等

○月曜日： パン給食

火曜日 木曜日 金曜日： 弁当給食

⑦ 預かり保育

○月～金曜日： 午後2時～午後5時30分まで

○長期休業中の預かり保育あり(夏 冬 春)

⑧ 行事の実施状況

4月：始園式 入園式 クラス懇談 家庭訪問

5月：創立記念日 父母の日礼拝 親子遠足 給食参観

6月：検診(内科・歯科) 尿検査 泥んこ遊び プール

花の子どもの日礼拝

7月：夕涼み会 七夕 終園式 お泊り保育(年長) 夏期保育

同窓会

8月：夏期保育

9月：始園式 敬老お楽しみ会 敬老会歌の出演 秋の遠足

10月：運動会 おいもほり

11月：クリーン大阪 大阪城散策 収穫感謝礼拝

12月：おもちつき クリスマス祝会 終園式

1月：始園式 雪遊び(年長)

2月：豆まき 生活発表会 人形劇鑑賞会

3月：ひなまつり お別れパーティー お別れ遠足(年長)

卒園式 終園式

\* 毎月の行事：お誕生会 身体測定 避難訓練(火事・地震・不審者対応)

\* 学期ごとの行事：保育参観 作品展 個人懇談会

\* キンダーカウンセラーによる子育て相談(年12回)

## 令和2年度自己評価結果

### 1、 本園の教育目標

- ・キリスト教保育の教えを基本とする愛の保育
- ・一人一人を大切にし、心も身体も豊かに成長する保育

### 2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領の改訂を踏まえキリスト教を基本とする本園の特色を生かした保育を進めていく。一人一人の子どもを大切にして質の高い保育の実践を目指す。

### 3、 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目                            | 取組み状況  |
|---------------------------------|--|
| 幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を考える。  | ・幼稚園に求められる社会的なニーズを教職員で話し合い、ねらいや内容の見直しを行った。   |
| 宗教的要素を基本として、教育の質向上や子ども理解を進めていく。 | ・クラスでの日々行われる礼拝の時間を大切にし、子どもたちが神様を知り、自分は愛されている大切な存在である喜びを伝えた。<br>・日々のエピソードを教職員間で語り合い、子どもの姿について学びを共有する機会をもった。 |
| 地域との連携や保護者のニーズの把握に努め、適切な対応をはかる。 | ・地域の行事が中止や延期になり、交流が減った。<br>・保護者の要望については子どもたちにとって、より充実した行事や園生活を過ごせるように連携しつつ引き続き協力をお願いした。                    |

### 4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人一人の子どもを大切にした教育を実践することができた。又、職員会や教職員の意見交換の場を設けるように努め、改善点を含む話し合いができた。そして、さらなる質の向上に向けた課題も明確になった。

## 5、今後取り組むべき課題

| 課題   | 具体的な取り組み方法   |
|------|--|
| 環境   | ・園庭や室内の環境やおもちゃについて話し合い、遊びが充実していけるように環境の構成に取り組む。  |
| 安全管理 | ・緊急事態発生に備えて危機管理マニュアル等を教職員間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの見直しをする。<br>・火災、地震、不審者の避難訓練を行い、教職員及び子ども達の安全意識を高める。 |
| 幼少連携 | 小学校と連携を行い「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して教育の接続を図る。   |

## 6、学校関係者の評価

子どもたちを取り巻く状況が、感染症拡大防止により大きく変化している中で、感染防止対策に取り組みながら努力している様子が伺える。その環境の中でも子どもたちがのびのびと遊び、それぞれが自分を表現しつつ園生活を過ごしている様子が見られた。園の教育目標のもと、一人一人を大切にしたい保育がなされ子どもを中心に園づくりを考えようとする様子が伺える。特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められるので今後も期待して園の成長を確認していきたい。

## 7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。